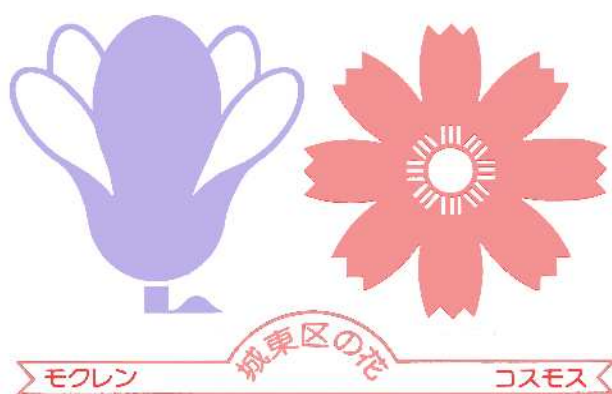


平成 2 3 年度

城東区民モニターアンケート（第 4 回）結果

「区民の健康づくり等に関するアンケートについて」



平成 24 年 3 月

大阪市城東区役所

【1】調査の概要

1 調査の目的

・区民の健康づくりについて

大阪市では、市民の健康水準のより一層の向上と健康寿命の延伸を目指した、健康増進計画「すこやか大阪 21」を策定し、生活習慣の改善、こころの健康づくり、生活習慣病予防等を進めています。城東区保健福祉センターにおいても、健康に関する講座やイベント、がん検診を実施するなど、区民の皆さんの健康づくりを支援するため様々な取り組みを行っているところです。

今回のアンケートでは、区民の皆さんの健康づくりの現状や、当区から発信している健康づくりに関する情報の認知度やニーズなどについてお伺いすることにより、今後の施策の参考とします。

・城東区のまちづくりについて

城東区では、人のつながり・絆をさらに活かして、「自分たちのまちを自分たちの手で良くしていこうと、互いに声をかけ、支え合うまち」、そして「誰もが健康で安心して、心豊かに暮らすことができ、愛着をもって本当に住んでよかったと実感できるまち」、すなわち、魅力・活力あふれ、ひと・まちが輝く「ふるさと城東区」を目指し、区民の皆さんと協働してまちづくりを進めています。そうしたまちづくりの進展度合いや、住みやすさについてどのように感じておられるかをお聞きし、今後のまちづくりの目標設定等に活かします。

2 調査の実施状況

調査期間：平成 23 年 12 月 15 日～平成 23 年 12 月 28 日

方法：郵送及び電子申請アンケートシステム

対象：区民モニター登録者 449 人

回答者数：366 人（内訳：郵送 283 人 電子申請 83 人）

回答率：81.5%

3 区民モニター数及び回答者数

		区民モニター			回答者		
		男	女	計	男	女	計
計		184	265	449	147	219	366
年齢別	20歳代以下	17	18	35	9	11	20
	30歳代	40	89	129	32	60	92
	40歳代	32	57	89	23	53	76
	50歳代	28	37	65	22	34	56
	60歳以上	67	64	131	61	61	122

参考：各設問のnについては、回答対象者、【 】については回答数です。

数値（%）は、各実数をもとに比例表示し、小数第2位を四捨五入しているため内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

年齢については、平成 23 年 4 月 1 日を基準としています。

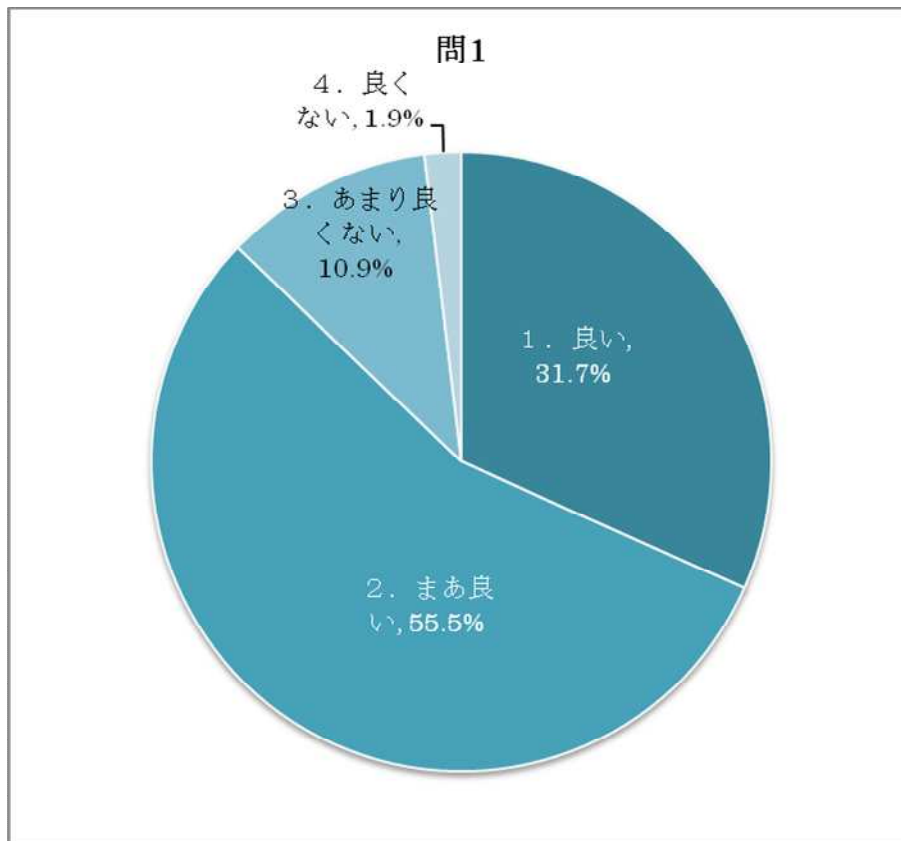
【2】調査結果の分析

区民の健康づくりに関する質問

問1 ご自身の健康状態について一番近いものを選んでください。（1つ選んでください）

1. 良い	31.7%	【116】
2. まあ良い	55.5%	【203】
3. あまり良くない	10.9%	【40】
4. 良くない	1.9%	【7】

n = 366



【分析・コメント】

ご自身の健康状態について、「良い」(31.7%)と「まあ良い」(55.5%)を合わせた約9割の方は、健康状態について良いと感じておられました。

年齢別でみると、健康状態が「良い」では20歳代以下で高く(20歳代以下 55.0%、30歳代 33.7%、40歳代 31.6%、50歳代 23.2%、60歳以上 30.3%)、「あまり良くない」では40歳代、50歳代で高いことがわかりました。(20歳代 5.0%、30歳代 9.8%、40歳代 13.2%、50歳代 16.1%、60歳以上 9.0%)

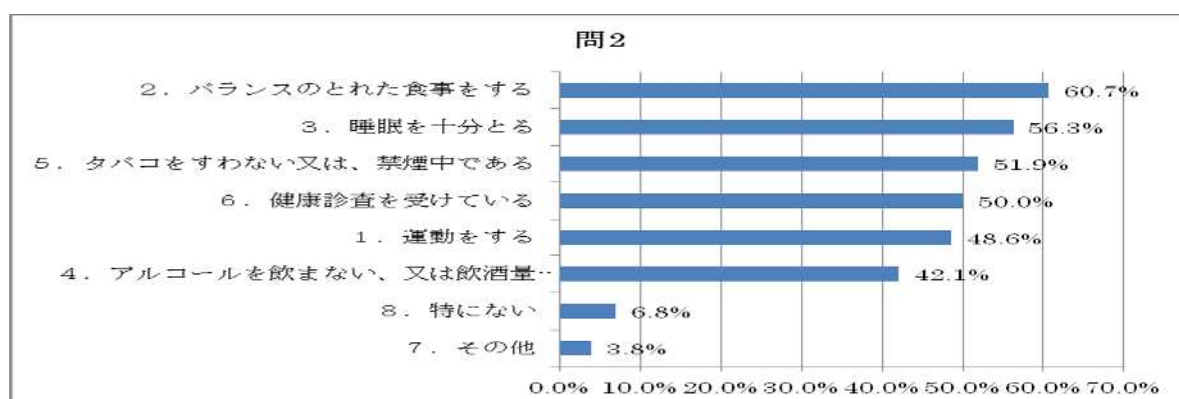
問2 健康づくりのために実行していることは何ですか。

(あてはまるものすべて選んでください)

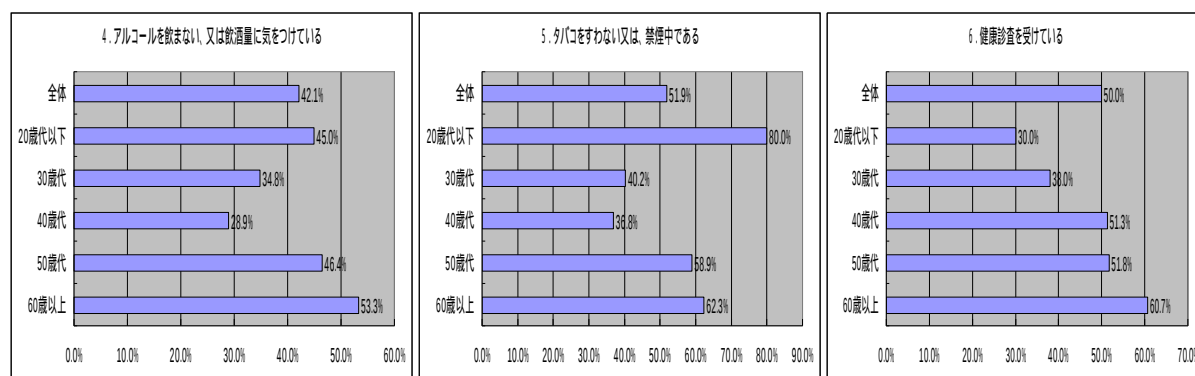
1. 運動をする	48.6%	【178】
2. バランスのとれた食事をする	60.7%	【222】
3. 睡眠を十分とる	56.3%	【206】
4. アルコールを飲まない、又は飲酒量に気をつけている	42.1%	【154】
5. タバコをすわない又は、禁煙中である	51.9%	【190】
6. 健康診査を受けている	50.0%	【183】
7. その他	3.8%	【14】
8. 特にない	6.8%	【25】

n = 366

回答総数【1,172】



(年代別)



【分析・コメント】

健康づくりのために実行していることについてたずねたところ、一番多かったのは「バランスのとれた食事をする」(60.7%)、「睡眠を十分とる」(56.3%)、「タバコをすわない又は、禁煙中である」(51.9%)、「健康診査を受けている」(50.0%)が多い順番となっています。

「その他」(3.8%)では、「ストレスを溜めない」、「物事を前向きにとらえる」、「笑う」などがあがっています。

性別でみると、女性では「バランスのとれた食事をする」(64.8%)が高く、男性では「睡眠を十分とる」(55.8%)が高いことがわかりました。

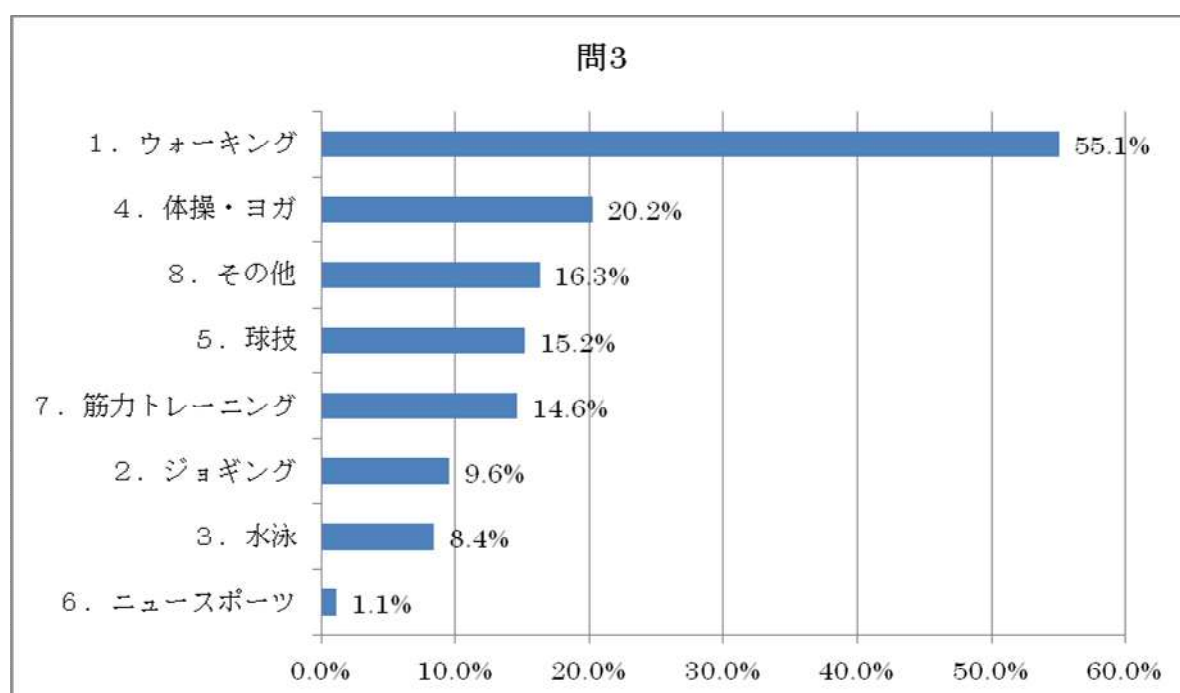
年齢別でみると、「タバコをすわない又は、禁煙中である」は20歳代以下(80.0%)で高く、30歳代(40.2%)、40歳代(36.8%)では低いことがわかりました。また、「アルコールを飲まない、又は飲酒量に気をつけている」では、30歳代(34.8%)、40歳代(28.9%)で低いことがわかりました。「健康診査を受けている」では、20歳代以下(30.0%)、30歳代(38.0%)で低いことがわかりました。

問2で1.「運動をする」と答えた方【178名】に、お聞きしました。

問3 主に、実践されている運動は何ですか。(2つまで選んでください)

1.ウォーキング	55.1%	【98】
2.ジョギング	9.6%	【17】
3.水泳	8.4%	【15】
4.体操・ヨガ	20.2%	【36】
5.球技(卓球、テニス、バレーボール、野球、サッカーなど)	15.2%	【27】
6.ニュースポーツ(グランドゴルフ、キンボールなど)	1.1%	【2】
7.筋力トレーニング	14.6%	【26】
8.その他	16.3%	【29】

n = 178



【分析・コメント】

問2で運動している方に、実践されている運動についてたずねたところ、一番多かったのは「ウォーキング」(55.1%)、「体操・ヨガ」(20.2%)が多い順となっています。

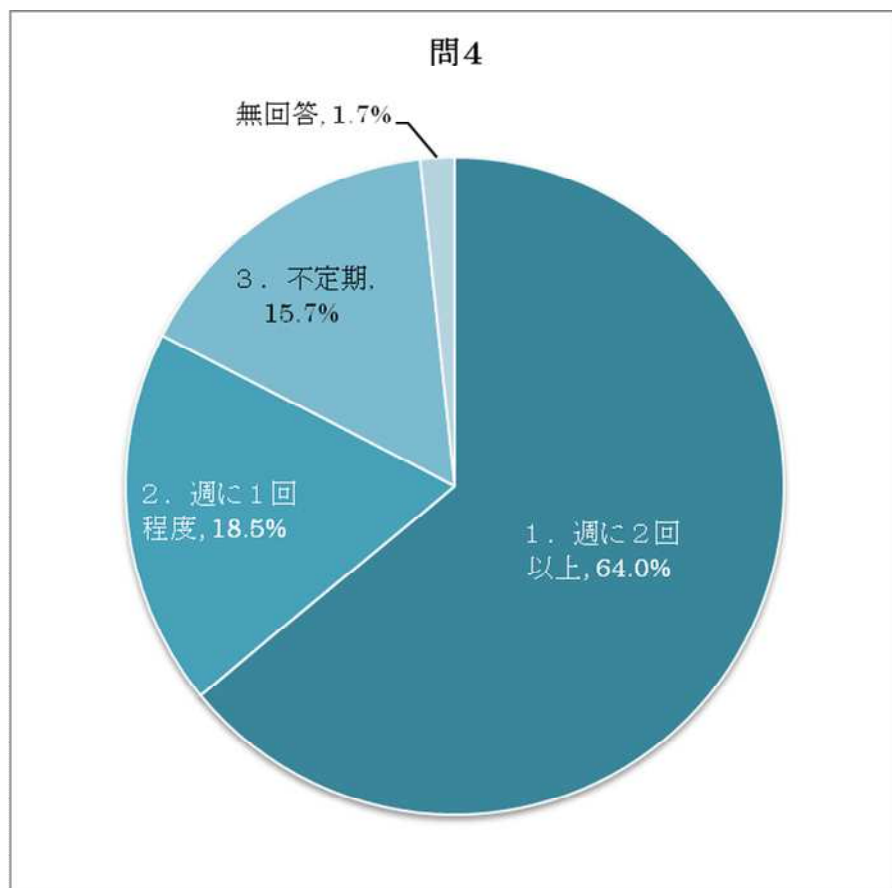
「その他」(16.3%)では、「サイクリング」、「ダンス」、「ストレッチ」などがあがっています。

年齢別でみると、20歳代以下では「球技(卓球、テニス、バレーボール、野球、サッカーなど)」(54.5%)、その他の年代では「ウォーキング」(30歳代 48.6%、40歳代 48.4%、50歳代 57.7%、60歳以上 62.7%)が一番高くなっていることがわかりました。

問2で1.「運動をする」と答えた方【178名】に、お聞きしました。

問4 運動の頻度についてあてはまるものを選んでください。(1つ選んでください)

1. 週に2回以上	64.0%	【114】
2. 週に1回程度	18.5%	【33】
3. 不定期	15.7%	【28】
n = 178		



【分析・コメント】

問2で運動している方に、運動の頻度についてたずねたところ、6割以上の方(64.0%)が「週に2回以上」運動していることがわかりました。

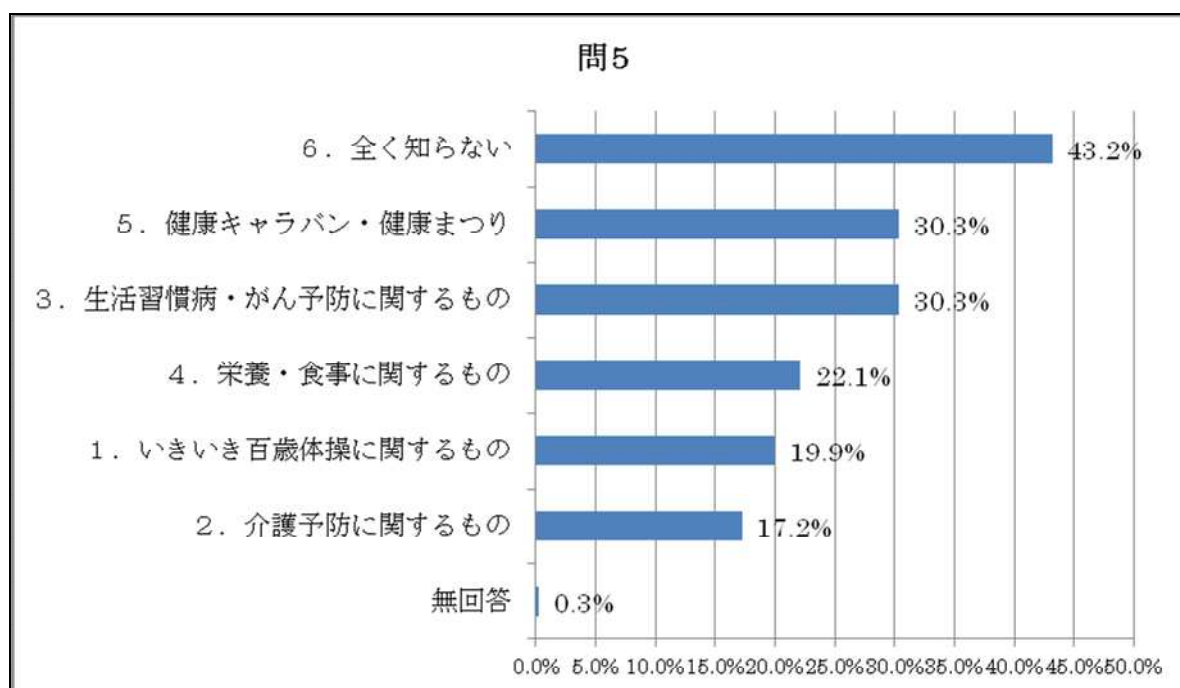
年齢別でみると、「週に2回以上」は60歳以上で高く(20歳代以下 45.5%、30歳代 45.7%、40歳代 64.5%、50歳代 57.7%、60歳以上 77.3%)、「週に1回程度」は30歳代で高く(20歳代以下 27.3%、30歳代 31.4%、40歳代 25.8%、50歳代 19.2%、60歳以上 8.0%)、「不定期」は20歳代以下で高い(20歳代以下 27.3%、30歳代 20.0%、40歳代 9.7%、50歳代 19.2%、60歳以上 13.3%)ことがわかりました。

問5 城東区保健福祉センターで取り組んでいる活動や講座で、知っているものをすべて選んでください。（すべて選んでください）

1. いきいき百歳体操に関するもの	19.9%	【73】
2. 介護予防に関するもの	17.2%	【63】
3. 生活習慣病・がん予防に関するもの	30.3%	【111】
4. 栄養・食事に関するもの	22.1%	【81】
5. 健康キャラバン・健康まつり	30.3%	【111】
6. 全く知らない	43.2%	【158】
無回答	0.3%	【1】

n = 366

回答総数【598】



【分析・コメント】

講座等の認知度についてたずねたところ、「全く知らない」方が4割（43.2%）おられ、「生活習慣病・がん予防に関するもの」（30.3%）、「健康キャラバン・健康まつり」（30.3%）が多い順となっています。

性別でみると、男性では「全く知らない」（60.5%）が高く、女性では「健康キャラバン・健康まつり」（39.7%）が高いことがわかりました。

年齢別でみると、「全く知らない」方は、60歳以上を除いた各年代で高く、逆に60歳以上では低いことがわかりました。（20歳代 55.0%、30歳代 51.1%、40歳代 52.6%、50歳代 44.6%、60歳以上 28.7%）

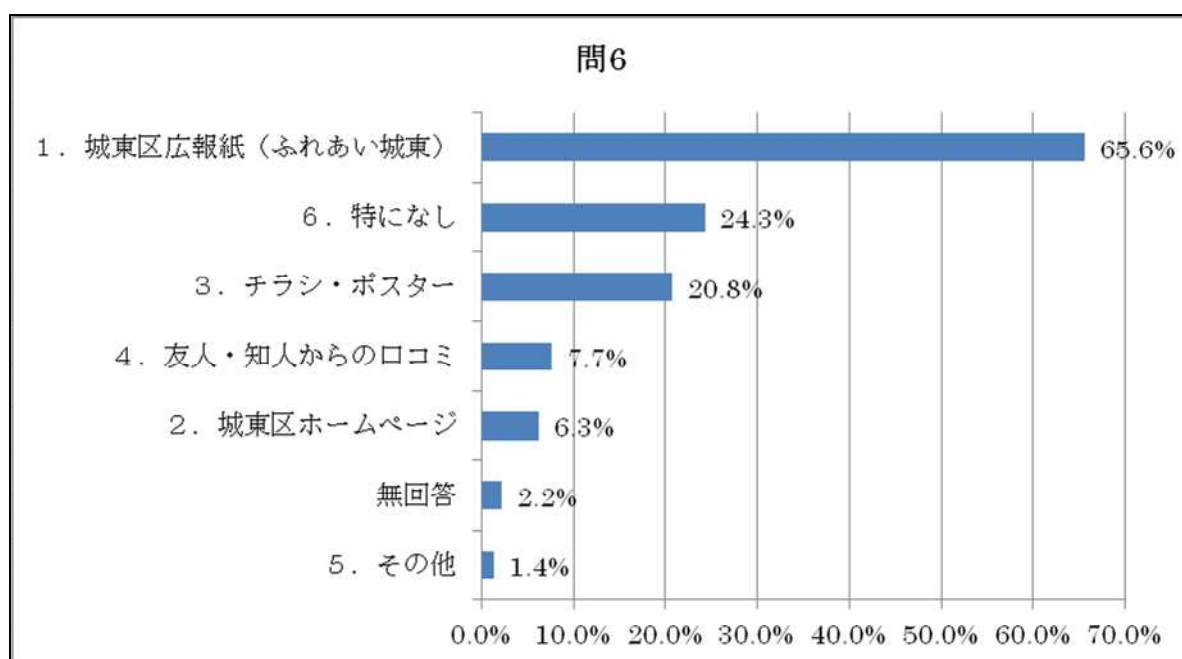
問6 城東区保健福祉センターで実施している活動や講座の情報は何かから得ていますか。

(主なもの2つまで選んでください)

1. 城東区広報紙(ふれあい城東)	65.6%	【240】
2. 城東区ホームページ	6.3%	【23】
3. チラシ・ポスター	20.8%	【76】
4. 友人・知人からの口コミ	7.7%	【28】
5. その他	1.4%	【5】
6. 特になし	24.3%	【89】
無回答	2.2%	【8】

n = 366

回答総数【469】



【分析・コメント】

入手方法についてたずねたところ、一番多かったのは「城東区広報紙(ふれあい城東)」(65.6%)、「特になし」(24.3%)、「チラシ・ポスター」(20.8%)が多い順となっていました。

「その他」(1.4%)では、「地域包括支援センター」、「PTA」、「町会の掲示板」などがあがっています。

性別でみると、男女共に「城東区広報紙(ふれあい城東)」が高いことがわかりました。(男性 54.4%、女性 73.1%)

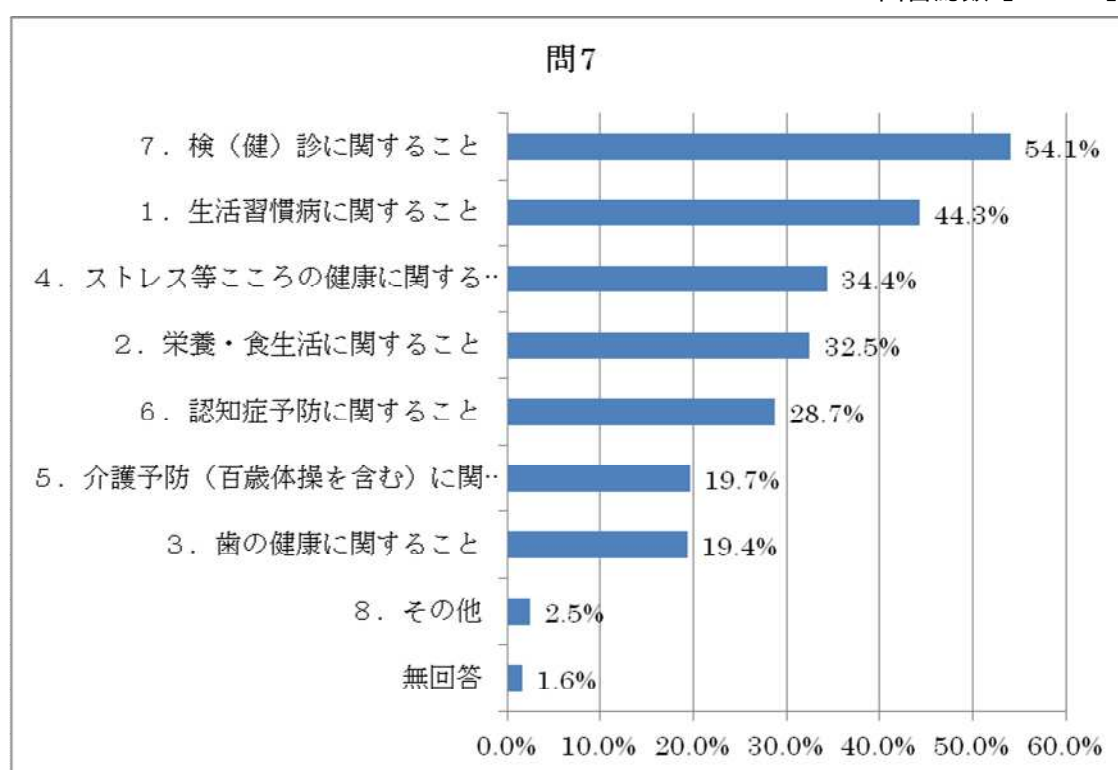
年代別でみると、60歳以上では「城東区広報紙(ふれあい城東)」(20歳代以下 50.0%、30歳代 58.7%、40歳代 59.2%、50歳代 66.1%、60歳以上 77.0%)が一番高く、「特になし」(20歳代以下 45.0%、30歳代 28.3%、40歳代 34.2%、50歳代 28.6%、60歳以上 9.8%)では一番低くなっていることがわかりました。

問7 城東区保健福祉センターから、健康に関してどのような情報を得たいとお考えですか。
(主なもの3つまで選んでください)

1. 生活習慣病に関すること	44.3%	【162】
2. 栄養・食生活に関すること	32.5%	【119】
3. 歯の健康に関すること	19.4%	【71】
4. ストレス等こころの健康に関すること	34.4%	【126】
5. 介護予防（百歳体操を含む）に関すること	19.7%	【72】
6. 認知症予防に関すること	28.7%	【105】
7. 検（健）診に関すること	54.1%	【198】
8. その他	2.5%	【9】
無回答	1.6%	【6】

n = 366

回答総数【868】



【分析・コメント】

健康に関してどのような情報を得たいかについて、一番多かったのは「検（健）診に関すること」（54.1%）、「生活習慣病に関すること」（44.3%）、「ストレス等こころの健康に関すること」（34.4%）、「栄養・食生活に関すること」（32.5%）が多い順番となっています。

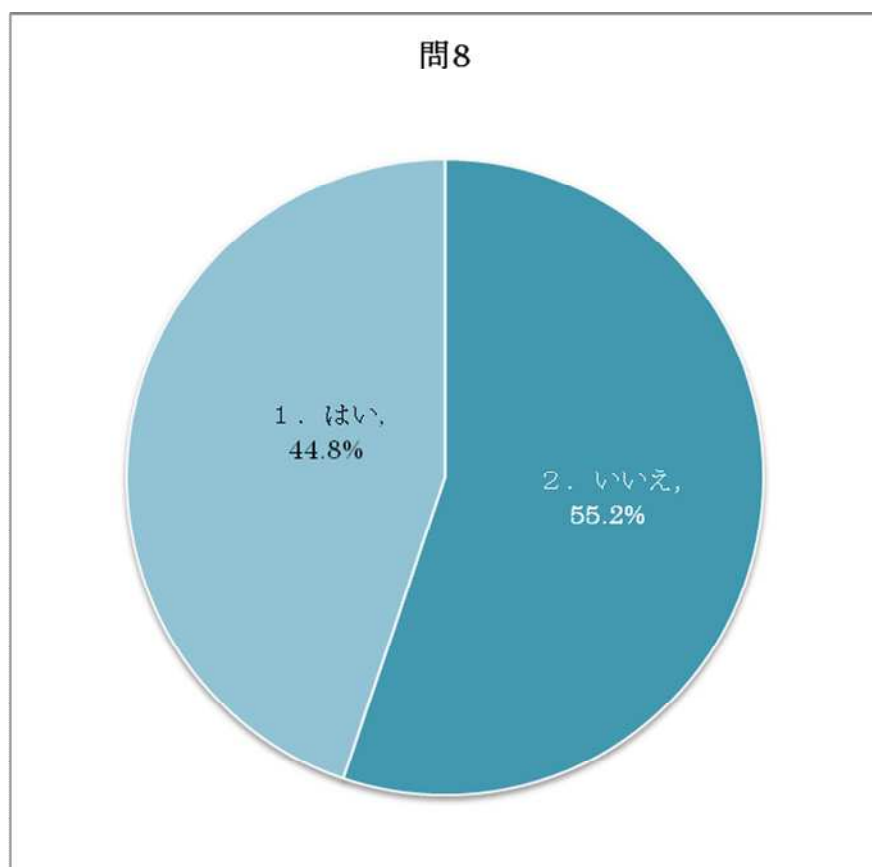
「その他」（1.6%）では、「子どもの健康に関すること」、「ストレスや心のケアが必要な場合にどこへ行けばよいか」などがあがっています。

性別でみると、男性では「生活習慣病に関すること」（59.2%）が高く、女性では「検（健）診に関すること」（56.2%）が高いことがわかりました。

年齢別でみると、20 歳代以下では「ストレス等こころの健康に関すること」（20 歳代以下 55.0%、30 歳代 37.0%、40 歳代 43.4%、50 歳代 33.9%、60 歳以上 23.8%）30 歳代・40 歳代では「検（健）診に関すること」（20 歳代以下 50.0%、30 歳代 71.7%、40 歳代 65.8%、50 歳代 48.2%、60 歳以上 36.9%）50 歳代・60 歳代では「生活習慣病に関すること」（20 歳代以下 50.0%、30 歳代 35.9%、40 歳代 34.2%、50 歳代 53.6%、60 歳以上 51.6%）が一番高いことがわかりました。

問8 がん検診を過去2年の間に、受けたことがありますか。 (1つ選んでください)

1. はい	44.8%	【164】
2. いいえ	55.2%	【202】
n = 366		



【分析・コメント】

過去2年の間に、がん検診を「受けた」方は4割強(44.8%)で「受けていない」方は5割強(55.2%)となっていました。

性別でみると、「受けた」方は女性で高く、男性では低いことがわかりました。(女性 51.1%、男性 35.4%)

年齢別でみると、「受けた」方は20歳代以下では低いことがわかりました。(20歳代以下 15.0%、30歳代 42.4%、40歳代 43.4%、50歳代 51.8%、60歳以上 49.2%)

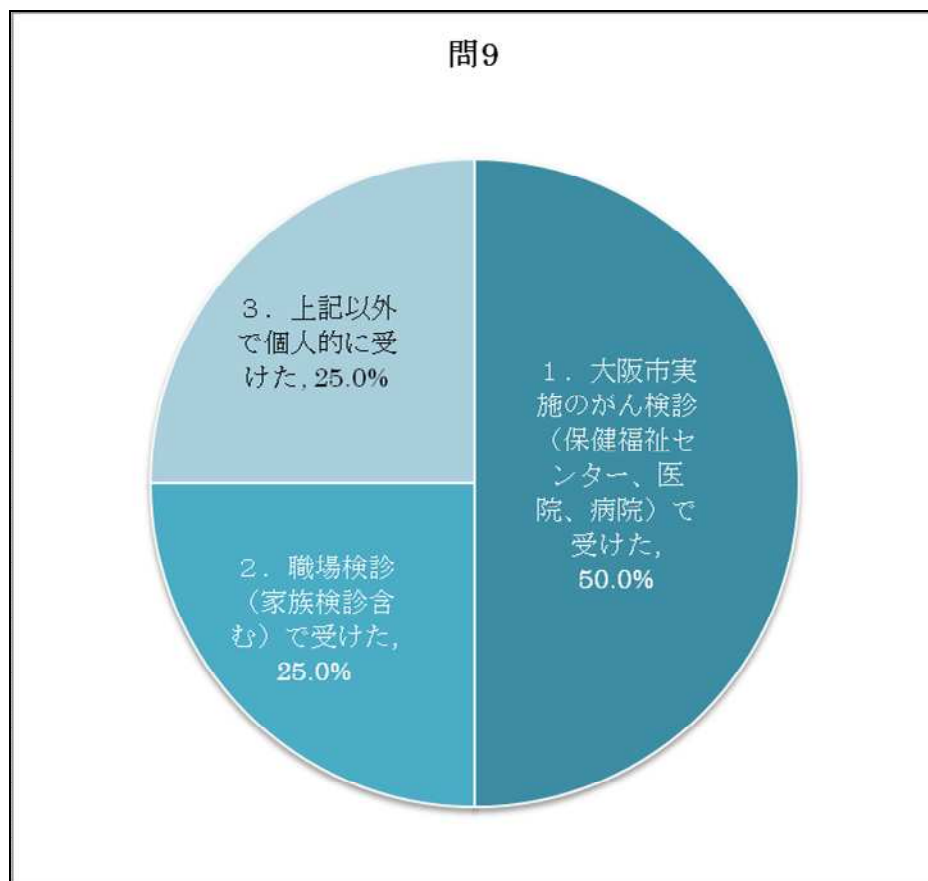
問8で1.「はい」と答えた方【164名】に、お聞きしました。

問9 どちらで、がん検診を受けましたか。

(1つ選んでください)

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 大阪市実施のがん検診(保健福祉センター、医院、病院)で受けた | 50.0% | 【82】 |
| 2. 職場検診(家族検診含む)で受けた | 25.0% | 【41】 |
| 3. 上記以外で個人的に受けた | 25.0% | 【41】 |

n = 164



【分析・コメント】

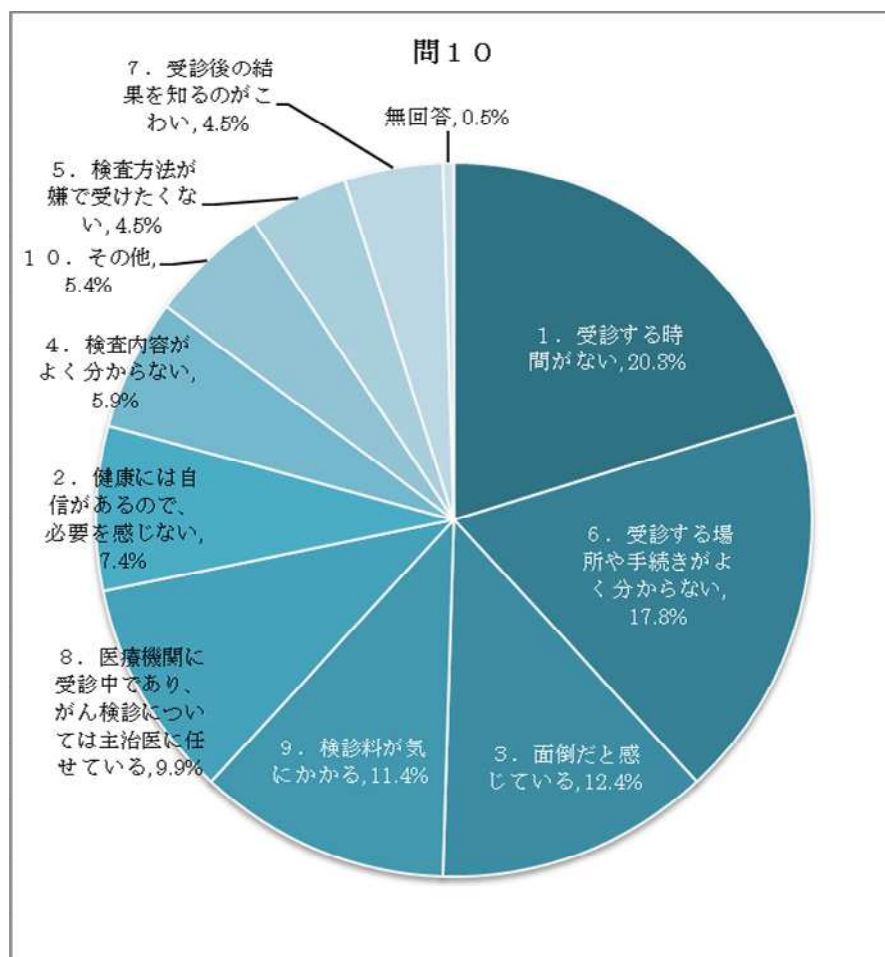
問8でがん検診を過去2年間に受けた方に、がん検診をどこで受けたかについてたずねたところ、5割の方は(50.0%)「大阪市実施のがん検診(保健福祉センター、医院、病院)」で受けていることがわかりました。

性別でみると、男性では「上記以外で個人的に受けた」(36.5%)が高く、女性では「大阪市実施のがん検診(保健福祉センター、医院、病院)」(58.0%)で高いことがわかりました。

問 8 で 1 .「いいえ」と答えた方【 2 0 2 名】に、お聞きしました。

問 1 0 がん検診を受けない理由は何ですか。 (1 つ選んでください)

1 . 受診する時間がない	2 0 . 3 %	【 4 1 】
2 . 健康には自信があるので、必要を感じない	7 . 4 %	【 1 5 】
3 . 面倒だと感じている	1 2 . 4 %	【 2 5 】
4 . 検査内容がよく分からない	5 . 9 %	【 1 2 】
5 . 検査方法が嫌で受けたくない	4 . 5 %	【 9 】
6 . 受診する場所や手続きがよく分からない	1 7 . 8 %	【 3 6 】
7 . 受診後の結果を知るのがこわい	4 . 5 %	【 9 】
8 . 医療機関に受診中であり、がん検診（健康管理）については主治医に任せている	9 . 9 %	【 2 0 】
9 . 検診料が気にかかる	1 1 . 4 %	【 2 3 】
1 0 . その他	5 . 4 %	【 1 1 】
無回答	0 . 5 %	【 1 】
n = 2 0 2		



【分析・コメント】

問 8 でがん検診を過去 2 年間に受けていない方に、受けない理由についてたずねたところ、一番多かったのは「受診する時間がない」(20.3%)、「受診する場所や手続きがよくわからない」(17.8%)、「面倒だと感じている」(12.4%)が多い順となっています。

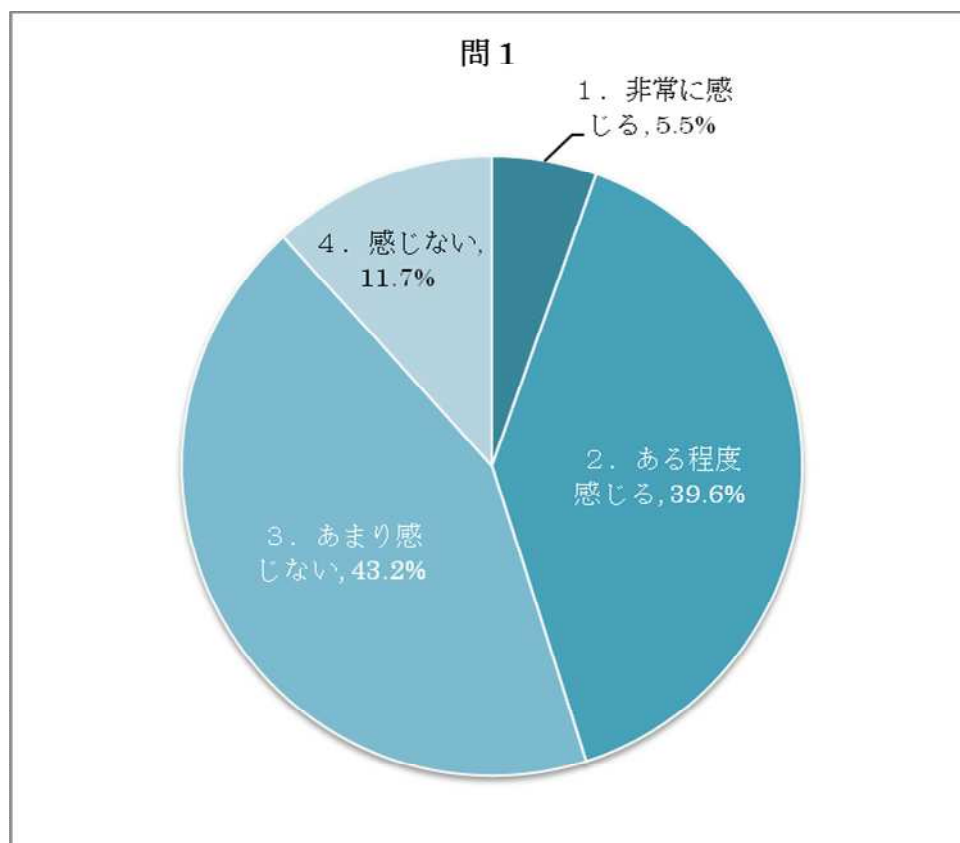
性別でみると、男性では「受診する場所や手続きがよく分からない」、「受診する場所や手続きがよくわからない」(共に 24.2%)が高く、女性では「面倒だと感じている」(17.8%)が高いことがわかりました。

城東区のまちづくりに関する質問

問1 城東区では、各地域で夏まつり、ふれあい喫茶など、様々なコミュニティづくりの行事が開催されております。また、城東区のキ・ズ・ナ（絆）プロジェクトやI♡（アイラブ）城北川プロジェクトなど、住民主体のまちづくり活動も進んでいますが、地域での住民同士の新しい「つながり」や「絆」が増えたと感じますか。（1つ選んでください）

1．非常に感じる	5．5％	【20】
2．ある程度感じる	39．6％	【145】
3．あまり感じない	43．2％	【158】
4．感じない	11．7％	【43】

n = 366



【分析・コメント】

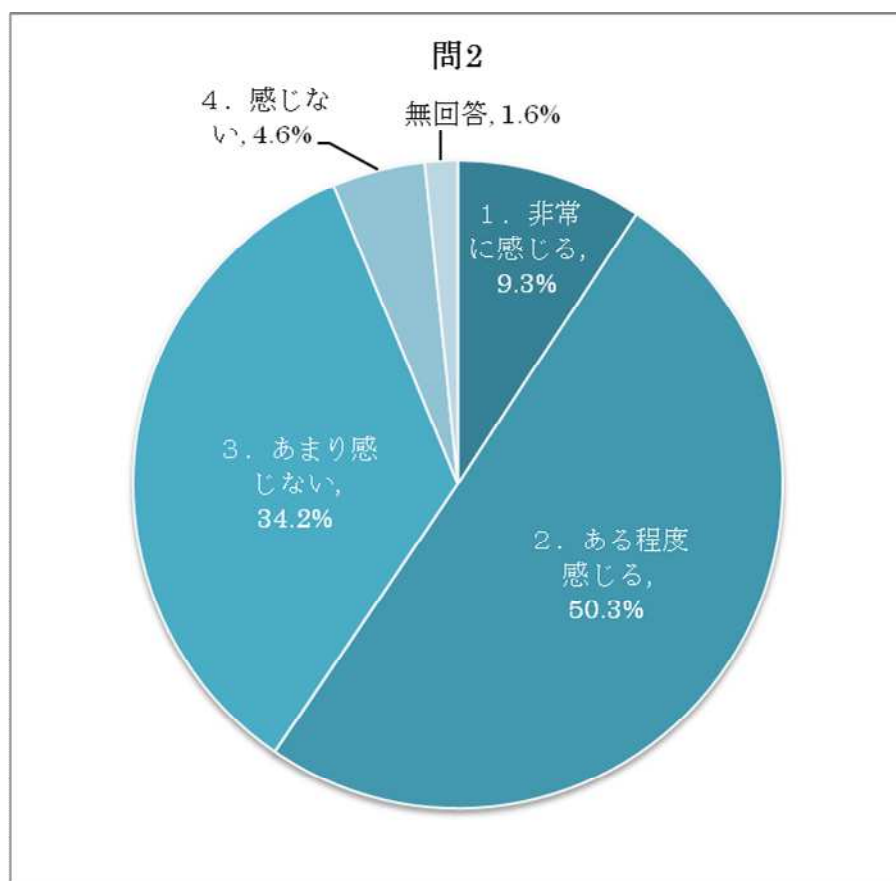
地域での住民同士の新しい「つながり」や「絆」が増えたと感じるかについてたずねたところ、「非常に感じる」（5.5%）、「ある程度感じる」（39.6%）を合わせた4割強の方は、増えたと感じていることがわかりました。一方、「あまり感じない」（43.2%）、「感じない」（11.7%）と合わせた5割の方は、増えたと感じていないことがわかりました。

年齢別でみると、「ある程度感じる」は20歳代以下・60歳以上で高く、40歳代で低いことがわかりました。（20歳代以下 45.0%、30歳代 38.0%、40歳代 32.9%、50歳代 35.7%、60歳以上 45.9%）

問2 城東区では、公園・街路等の花壇への花の植えつけやゴーヤ等による緑のカーテンづくりなど花と緑のまちづくりを実施しています。また、区役所ロビーコンサートや吹奏楽フェスティバルの開催など音楽文化のまちづくりも実施していますが、魅力・活力あるまちづくりが進んでいると感じますか。
(1つ選んでください)

1. 非常に感じる	9.3%	【34】
2. ある程度感じる	50.3%	【184】
3. あまり感じない	34.2%	【125】
4. 感じない	4.6%	【17】
無回答	1.6%	【6】

n = 366



【分析・コメント】

魅力・活力あるまちづくりが進んでいると感じているかについてたずねたところ、「非常に感じる」(9.3%)、「ある程度感じる」(50.3%)と合わせた約6割の方は、進んでいると感じていることがわかりました。

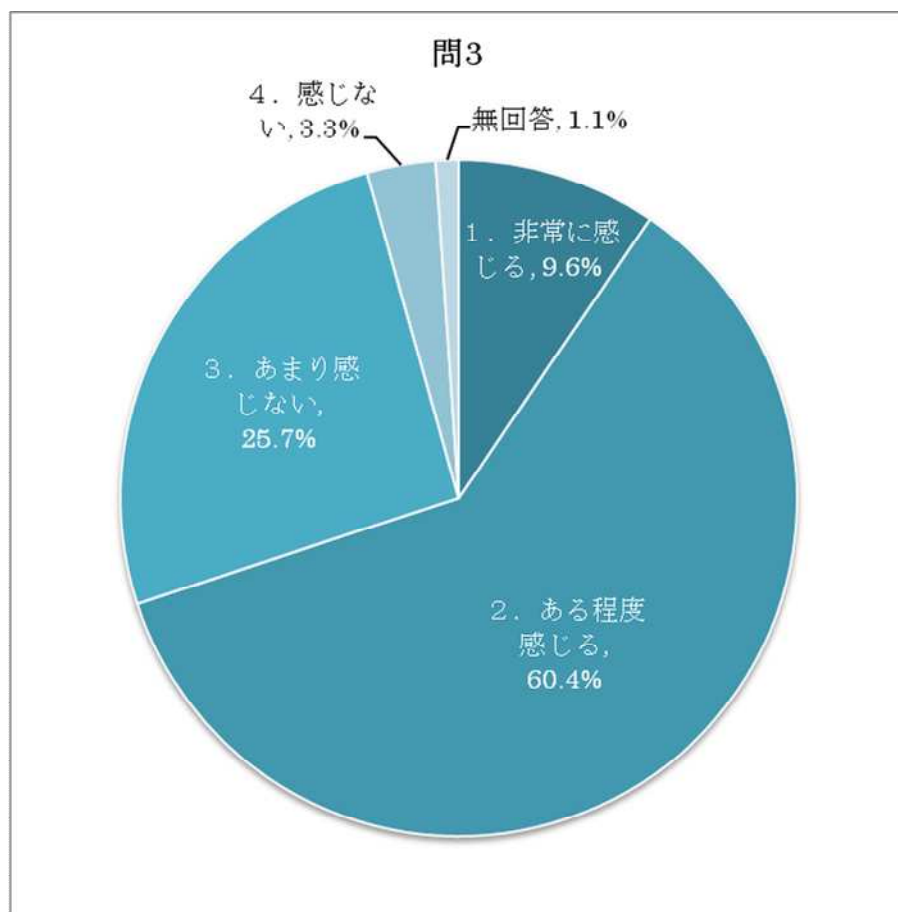
年齢別でみると、「ある程度感じる」は60歳以上で高く、20歳代以下で低いことがわかりました。(20歳代以下 35.0%、30歳代 43.5%、40歳代 44.7%、50歳代 48.2%、60歳以上 62.3%)

問3 城東区では、各地域で防災訓練をはじめ、災害に備えた取組が実施されています。また、子ども見守り活動をはじめ防犯活動も実施され、街頭犯罪発生件数も5年前から約3割減ってきていますが、地域防災・防犯活動が進んでいると感じますか。

(1つ選んでください)

1. 非常に感じる	9.6%	【35】
2. ある程度感じる	60.4%	【221】
3. あまり感じない	25.7%	【94】
4. 感じない	3.3%	【12】
無回答	1.1%	【4】

n = 366



【分析・コメント】

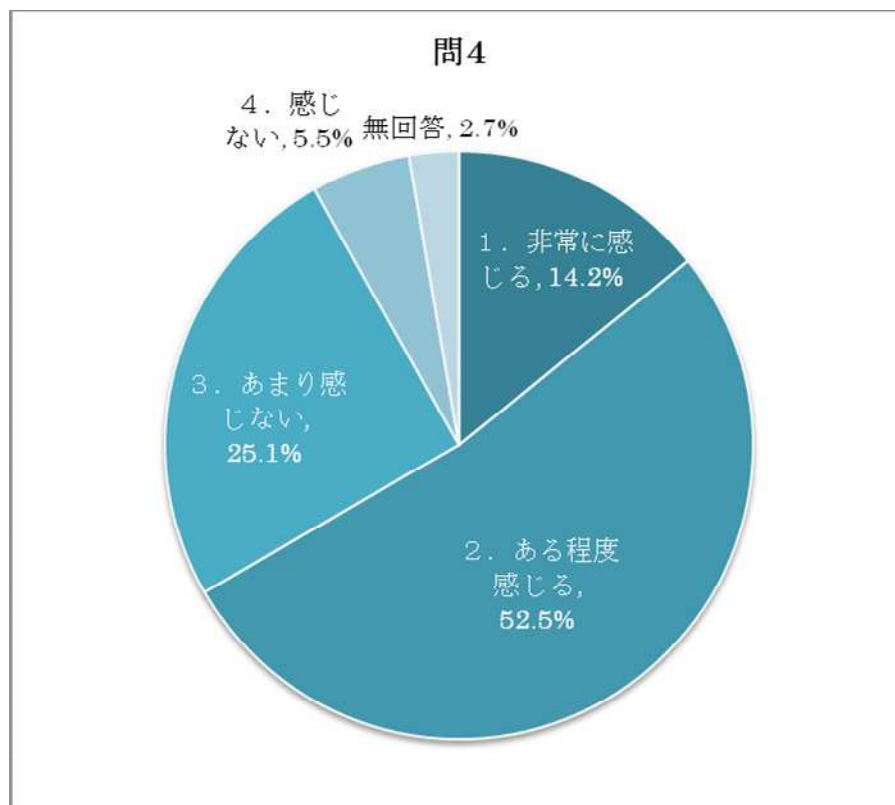
地域防災・防犯活動が進んでいると感じているかについてたずねたところ、「非常に感じる」(9.6%)、「ある程度感じる」(60.4%)と合わせた6割の方は、進んでいると感じていました。

年齢別でみると、「非常に感じる」は40歳代で高く、50歳代で低いことがわかりました。(20歳代以下 10.0%、30歳代 7.6%、40歳代 13.2%、50歳代 3.6%、60歳以上 11.5%) また、「ある程度感じる」は50歳代・60歳以上で高く、20歳代以下で低いことがわかりました。(20歳代以下 50.0%、30歳代 62.0%、40歳代 51.3%、50歳代 64.3%、60歳以上 64.8%)

問4 城東区では、今年度からフロアマネージャー（手続き案内人）を設置するなど、迅速・ていねいな対応を心がけサービスを行ってきておりますが、区役所の窓口サービスが良くなったと感じますか。（1つ選んでください）

1．非常に感じる	14.2%	【52】
2．ある程度感じる	52.5%	【192】
3．あまり感じない	25.1%	【92】
4．感じない	5.5%	【20】
無回答	2.7%	【10】

n = 366



【分析・コメント】

区役所の窓口サービスが良くなったと感じているかについてたずねたところ、「非常に感じる」(14.2%)、「ある程度感じる」(52.5%)と合わせた6割強の方は、良くなったと感じていることがわかりました。

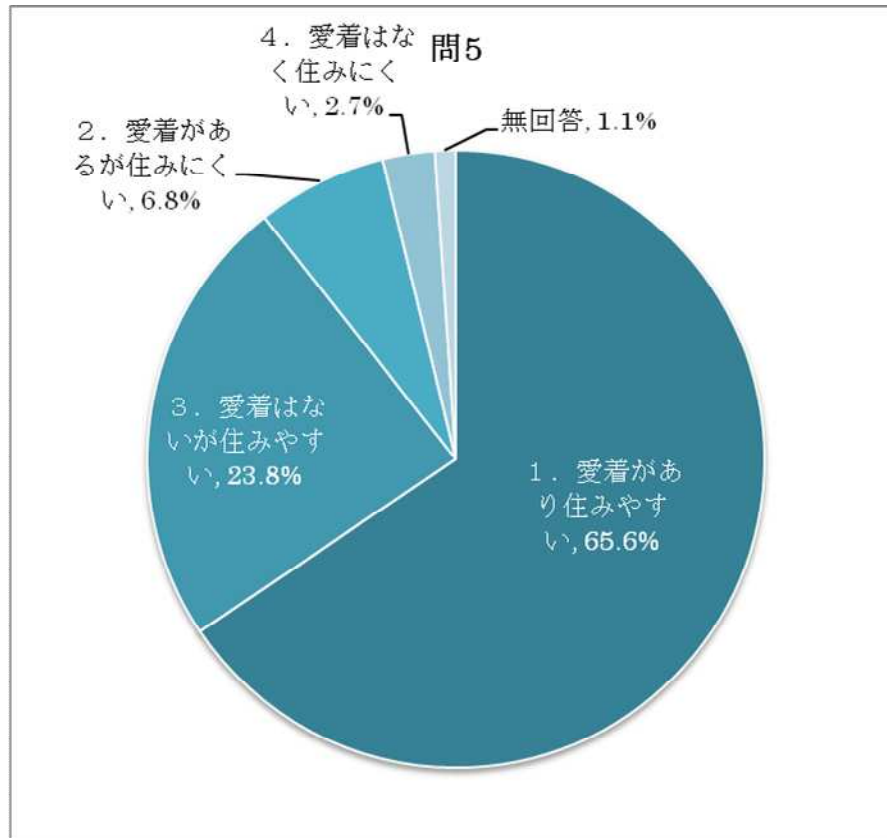
年齢別でみると、「非常に感じる」は40歳代で高く、20歳代以下で低いことがわかりました。(20歳代以下 5.0%、30歳代 9.8%、40歳代 19.7%、50歳代 12.5%、60歳以上 16.4%)
「ある程度感じる」は60歳以上で高く、20歳代以下で低いことがわかりました。(20歳代以下 40.0%、30歳代 47.8%、40歳代 43.4%、50歳代 55.4%、60歳以上 62.3%)

問5 城東区に愛着をお持ちですか。住みやすいまちだと思っておられますか。

(1つ選んでください)

1. 愛着があり住みやすい	65.6%	【240】
2. 愛着があるが住みにくい	6.8%	【25】
3. 愛着はないが住みやすい	23.8%	【87】
4. 愛着はなく住みにくい	2.7%	【10】
無回答	1.1%	【4】

n = 366



【分析・コメント】

城東区に愛着と住みやすさについてたずねたところ、6割以上の方は「愛着があり住みやすい」(65.6%)ことがわかりました。

愛着度でみると、「愛着があり住みやすい」(65.6%)、「愛着があるが住みにくい」(6.8%)を合わせた7割以上の方は、城東区に愛着があることがわかりました。また、住みやすさでみると、「愛着があり住みやすい」(65.6%)、「愛着はないが住みやすい」(23.8%)を合わせた約9割の方は、城東区は住みやすいまちだと思っていることがわかりました。

年齢別でみると、「愛着があり住みやすい」は20歳以下・60歳以上で高く、50歳代で低いことがわかりました。(20歳代以下 75.0%、30歳代 62.0%、40歳代 64.5%、50歳代 57.1%、60歳以上 71.3%)

【3】調査分析のまとめ

第4回城東区民モニターアンケートにご協力いただきありがとうございました。

・区民の健康づくりについて

区民の健康づくりに関するアンケートの結果より、健康状態について9割の方が概ね「良い」と回答され、健康づくりのために「食事」「睡眠」に気を付けている方が多いことが分かりました。

健康のために「運動」をしている方の中では「ウォーキング」の実施割合が高く、日常生活に取り入れやすいことがその理由であると考えられます。当区では健康づくりを目的とした区民組織、「城東区健康づくり推進協議会みどりの会」が「歩育マップ」を作成し、区民に「楽しく歩いて健康づくりをしましょう」と呼びかけています。今後、より多くの方が運動を習慣にしていただけるよう、「ウォーキング教室」等の開催を検討していくことが必要と考えています。

「運動実施回数」は、厚生労働省作成の「健康日本21」において週2回以上の運動習慣、又は毎日1万歩以上が勧められています。「運動実施回数」では週2回以上実施している方が、3人に1人おられ、運動効果を理解し、実践されていることが伺われました。

「飲酒」「喫煙」については、30歳代・40歳代の方の問題意識が低い状況にあることから、アルコールやタバコは、習慣性というより依存性があるとの認識を持っていただくように働きかけを強化していく必要があります。

健康診査受診率は30歳未満の方は3割、30歳代の方は4割で、他の年齢の方に比較し低い状況でした。健康診査は、本人の意識だけでなく、所属している集団（会社等）の管理体制の影響が大きいですが、健康は生活習慣の見直しから始め、健康増進のため、若い時からの健康管理が重要であるとの個々の認識が大切です。

保健福祉センターで実施している活動や講座を「全く知らない」と回答した方が40歳以下の方では約5割おられました。区の広報紙やホームページの作成を分かり易くするとともに、チラシ等により、内容に応じた対象者に届くように商業施設等を利用したPR等拡充していくことが必要と考えます。

健康に関して得たい情報は、「健診に関すること」「生活習慣病に関すること」「ストレス等こころの健康に関すること」と続きます。この結果を参考に講演会や講座を開催するとともに、広報紙の活用等により広く情報発信をしていきたいと考えています。

がん検診を受けない理由では「受診する場所や手続きがよく分からない」方が2割弱おられました。がんは死亡原因の第1位であり、がん検診の受診率は全国の中で大阪市は低い状況にあり大きな課題です。よって区医師会との協働のもと積極的な検診の勧奨等、新たな取組みを進め、がんの早期発見早期治療により、区民の方々の健康を守り増進することが出来るよう、あらゆる機会を通じて啓発を強化していくことが必要と考えます。

．城東区のまちづくりについて

城東区のまちづくりに関するアンケートの結果より、問１～４の質問で各まちづくりの進展度合いについてみると、概ね１割の方は「非常に感じる」（問１ ５.５％、問２ ９.３％、問３ ９.６％、問４ １４.２％）、４割～６割の方は「ある程度感じる」（問１ ３９.６％、問２ ５０.３％、問３ ６０.４％、問４ ５２.５％）ということがわかりました。

年齢別での特色では、問２「魅力・活力あるまちづくりが進んでいる」、問４「区役所の窓口サービスが良くなった」では「ある程度感じる」方は２０歳代以下で低く、６０歳以上では高いことがわかりました。

今後、あらゆる年齢層のみなさまにまちづくりが進んでいると感じていただけるように、事業をより効果的に実施していくとともに、区での取組みや色々な事業などを知っていただくための効果的な広報を行っていきたいと考えています。

とくに、問１の住民同士の新しい「つながり」や「絆」が増えた「非常に感じる」「ある程度感じる」と答えた方の率は４５.１％半分に満たない状況にあり、今後、より多くの区民の方のまちづくりへの参加・協働をさらに進めていくことが必要と考えています。

また、城東区に７割以上の方が愛着をお持ちで、約９割の方は住みやすいまちだと思っていることがわかりました。しかし、愛着が持っておられない方も２割以上おられることがわかりました。

今後、区民のみなさまの満足度や愛着をさらに高めていただき、「ふるさと」をキーワードに、皆さまに、城東区を「ふるさと」として強く意識していただけるようなまちにするため、今回実施したアンケート結果を参考に今後のまちづくりの目標設定などに活かしていきます。

担当 城東区役所総務課

電話 ０６－６９３０－９６８３